

東大・朝日シンポジウム 「21世紀情報社会と民主主義～日米欧と中国の今後」

ネットは民主主義の「敵」か「味方」か。中国では、一部で過激な世論を助長し、日米では選挙のあり方まで影響を与えています。東京大学と朝日新聞社は2006年から毎年1回、「知の拠点サミット」と名付けた国際シンポジウムを共同開催。5回目の今年は「21世紀情報社会と民主主義」をテーマに、中国民主化問題の専門家や日米欧の法社会に詳しい学究が議論を深めます。

日 時：平成22年12月3日(金) 13:10～16:30
場 所：東京大学安田講堂
参 加 費：無料
使用言語：日本語・英語(同時通訳あり)

登壇者：濱田 純一 総長
長谷部 恭男 教授(法学部)
イアン・ブルマ 教授(米バード大)
ミンシン・ペイ 教授(米クレアモント・マッケンナ・カレッジ)
船橋 洋一 氏(朝日新聞社主筆)



濱田 純一 総長



長谷部 恭男 教授



イアン・ブルマ氏 教授



ミンシン・ペイ 教授

参加登録：本学の学生・教職員が聴講希望する場合は[こちら](http://dir.u-tokyo.ac.jp/topics/event20101203.html)から
<http://dir.u-tokyo.ac.jp/topics/event20101203.html>

※ 本学Webサイトからの申込みは、本学学生及び教職員限定です。
その他の方による申込みは、[朝日新聞社Webサイト](#)をご利用願います。

【本件に関する問合せ先】
東京大学国際企画課
TEL: 03-5841-2093
E-mail: intpl@adm.u-tokyo.ac.jp